



発言を求めて挙手



3年1組議長の加藤大輝君



感染症対策のため会場を変更して開催



議 3年2組議長の後藤匠星君



実際の議会さながらに議事が進行



堤村長の答弁を真剣に聞く中学生議員

中学生に議会の役割や仕組みを学んでもらい、村政に対する関心を深めてもらおうと、今年で16回目となる「中学生議会」が11月12日に役場で開催されました。

今年度は、3年1組(加藤大輝議長)35人、2組(後藤匠星議長)34人の2部に分かれて開会。それぞれの組の生徒は、中学生の視点で考えた質問や提案のテーマごとに班に分かれ、事前に検討を重ねてきました。

この日は、感染症の拡大防止対策のため、議場ではなく会議室を広く使って行われ、議長役の生徒の議事進行により、地域の身近な

村の未来を考え質問

昭和村中学生議会(3年生)



第2部はカジュアルに



クイズコーナーは楽しく



繊細な音色の木管パート



艶やかな音色の金管パート

ホールに響くハーモニー

秋のタベコンサート(吹奏楽部)

吹奏楽部(倉澤愛琉部長)による「秋のタベ」コンサートが村公民館ホールで開催されました。今年で29年目を迎えたこの伝統のコンサート。今回はコロナ禍のため、来場者部員家族に限定して行われました。

コンサートは2部構成で、部員たちの心のこもった演奏と、趣向を凝らした多彩なパフォーマンスが披露されました。

また今回は、トランペットの見城柚実さん(3年)と、クラリネットの堤ひまりさん(3年)がそれぞれソロ曲を披露。見事な演奏で会場を魅了しました。

昭和中生の充実の秋

昭和中学校の3年生と2年生が、学校を出て普段とは違った場で学びました。また、吹奏楽部による恒例のコンサートも行われました。

Close up 2

仕事を肌で感じ、自身に新たな気づきを得てもらおうと、2年生を対象とした「チャレンジウィーク」が11月11日に行われました。生徒たちは村内13カ所の事業所を訪れ、仕事を見学しました。

今回は、コロナ禍のため半日のみの開催とし、見学や質疑応答を中心に行われました。生徒たちは数人ずつの班に分かれ、複数の事業所を訪問。日頃接することのないさまざまな仕事を目の当たりにするとともに、率直に疑問に感じたことを質問し、その仕事の楽しさや厳しさを学んでいました。

仕事を間近で学ぶ

チャレンジウィーク(2年生)

問題から村の政策に関することまで、さまざまな質問や提案を堂々と行い、それに対し堤村長と堤教育長が答弁しました。

3年1組では「観光面での、道の駅ありーむ昭和のさらなる強化」や「過疎化の防止と移住対策」「昭和中生の健康維持のための学校設備の更新」など、2組では「路線バスやスクールバスの利便性向上」や「地域の交通安全対策の強化」「漢字能力検定に対する補助制度の提案」などが議題に上がりました。

堤村長は中学生議会の閉会にあたり「村づくりに関して、皆さんの率直な思いをお聞かせいただき、また、村の抱えている問題などを提案いただきありがとうございます。今後の村づくりの参考にしていきたいと思えます」と述べました。



役場新庁舎の建設現場を見学



堂々と質問



フリップを使ってわかりやすく提案



美容室オレンジで体験



北毛久呂保の工場を見学



ワーナテック昭和工場で説明を受ける